

今号の内容 ページ

- ◆ 8月2日サービス開始 ファミリー・サポート・センター 2~3
- ◆ 水郷柳川夏の水まつり スイ!水!スイ! 4~5
- ◆ がん検診に行くんだ 6~7
- ◆ 柳川市総合美術展の作品を募集ほか 8
- ◆ 市職員と消防吏員を募集ほか 9
- ◆ 市民のひろば(10-11) ◆ 川柳(11) ◆ 図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き(12-13) ◆ 情報わいど(14-19) ◆ がんばったね・ぬくもり(20) ◆ もちふるデビュー(21) ◆ 保健ガイド(22-23) ◆ 新市史抄片(24)



大蛇が放つ光は地域の未来を明るく照らす

地域の無病息災と農作物の豊作を祈願する、崩道観音堂祇園祭が7月17日、昭代地区の崩道児童遊園地で行われました。この日は、地域の男性だけで、雄と雌2体の大蛇を麦わらと有明海で採れる渦や貝殻などで作成。午後7時から地区の子どもたちが、大蛇に花火を取り付け火花を散らすと、祭りは最高潮に盛り上がりしました。

新 市史抄片 77 在郷武士の住宅 綿貫家住宅

■ 問い合わせ 市生涯学習課市史編さん係 (☎72・1275)

三橋町五拾町にある西光寺(浄土真宗本願寺派)の南西方向、細い道の突き当たり綿貫家住宅は建つ。当家からは、明治14年(1881)に警視副総監に就き、その後、元老院議員を務めた綿貫吉直が出てくる。

吉直こと敬太郎は、この地で天保2年(1831)に生まれる。綿貫敬太郎の名前を「柳河藩立花家分限帳」所収の資料で探すと、例えば、「元治元年分限帳」(1864)には「組廻御書院番」の中に「七人扶持拾石 綿貫敬太郎」がみえる。

ところで、住宅は江戸後期の建設と考えられる。明治前半の増築をはじめ、これまで改修が行われてきたが、当初の状態を良好にとどめている。

屋根には鉄板を被せているが、付近では数少ない茅葺である。その屋根は、東西棟の部分とその東端部から南へし字に棟を出した角屋で構成され、四方に瓦葺の下屋を廻す。南を正面とし、西側に土間を通す。それに面して茶の間と3畳大の板間がある。南側に



綿貫家住宅正面



綿貫家住宅座敷



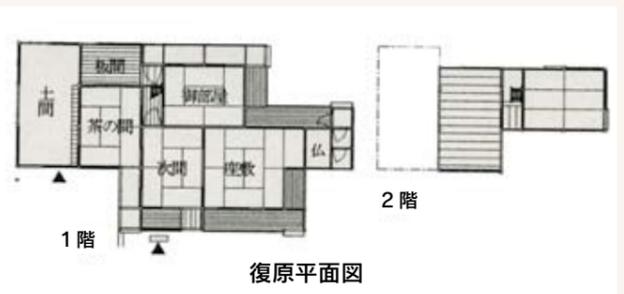
茶の間・上階 断面図

は座敷と次間が並び、次間は客用の玄間間を兼ねる。これらの北側に御部屋を配す。座敷・次間以外には2階を設け、御部屋の上階の部屋には天井を張る。座敷には床の間を備え、その横は半間奥まっで、内法長押を打たない。

当住宅と城内に残る武家住宅との違いは、広い土間があること、次間が客用の玄間を兼ねること、9寸を超える太い差し物を多用することなどである。

当住宅は、市内に残る数少ない江戸時代の住宅として貴重である。そして、在郷武士の住宅であることにより、その建築的価値はさらに高まる。

市史編集委員 松岡高弘



復原平面図

平成23年6月末現在

人のうごき

- 人口 71,831人 (前月比+16)
- 男 34,017人 (+10)
- 女 37,814人 (+6)
- 出生 51人、死亡 48人
- 転入 145人、転出 132人
- 世帯数 24,553世帯 (+17)

編集後記

●アケビを植えている。実の収穫が目的だ。春先に花は咲くがまったく結実しない。こうなると関心も薄れ、ろくに手入れもせず、つるは伸び放題。そんなある日、刺されると強烈に痛む力の幼虫が大発生。除虫剤で事なきを得たが、これってアケビの復讐? 愛情を持って接しよう。

●早朝ラジオ体操、午前中友達と学校のプール、午後友達と遊んで、夕方アニメを見てお風呂入って寝る。大人からすると夢のような子どもの夏休み。保護者からすると毎日子どもがいるので頭が痛くなる夏休み。もがいているので頭が痛くなる夏休み。テレビの「毎日かあさん」に親近感を感じるのはうちだけか? (賢治)

●最近はずでヒールの銘柄が分かるようになってきた。毎日楽しみにしている習慣が私をこの領域まで成長させてくれた。仕事も早くその領域に達せねばならないが、帰宅後真っ先に向かうのは勉強机ではなくキーボードと冷えたビールが待つ冷蔵庫。(和久)